

## 用 土

「観葉植物の土」として販売されている土が無難で、さらに手を加えたいときは腐葉土やピートモス、川砂などを植物に合わせてブレンドしてください。

### 混 ぜ 方

#### 黒土 (田土、畑土)

砂や腐葉土を混ぜます。

#### 赤玉土

多くの植物に適した土で、砂と腐葉土を混ぜます。

#### 鹿沼土

サツキやさし木用の土に最適で、主として単品で使います。

#### 腐葉土

広葉落葉樹のものがよく、黒土や赤玉土と混ぜて使います。

#### パーミキュライト

軽くて保水性があります。パーライトと混ぜて使います。

#### ピートモス

腐葉土と同じように黒土や赤玉土と混ぜて使います。

## 肥 料

生育期間中の5~9月頃に与えます。固形油粕、配合肥料、マグアンプK、エードボールなどを鉢のふちの3~5カ所ぐらいに浅く指で埋めこみます。

またハイポネックスといった、水やりのときに、月に一回程度水に溶かして与える液肥タイプもあります。

植え替えのときは鉢の下部にマグアンプKを混ぜておくとも肥効果があります。



## ここがポイント!

### 夏は日陰に、冬は日向に、が基本。

#### ● 15℃以下になったら室内へ。

しかし10℃ぐらいになってから室内に入れた方が植物が強くなるので、見極めは10月と11月の境いでしょう。

#### ● 水は控えめに。

土が乾いてから、鉢底から水が出てくるぐらいたっぷりとやります。

#### ● 激しい温度差は避ける。

温室は夜間だけにして、日中は風通しのいい窓辺に置くといいでしょう。

#### ● 冷えこみの激しいときはビニールをかぶせる。

ビニール袋が温室の役目をして、冷えこみを防ぎます。



## サービスのご案内



配 送 切り売り商品 修 理



返品・交換 表札・額の受注 スベアキーづくり

● 下記クレジットカードがご利用できます



はギフト券もご利用いただけます



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進課  
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111 (大代表)

# 観葉植物の育て方

自分でやってみよう!

## セキチュー HOW TO D.I.Y

13



家庭にグリーンを入れましょう。グリーンという色は人の目にもやさしく、心を落ち着かせる働きがあります。ひと鉢のグリーンをお部屋に置くだけでほっとすることは確かです。アパートやマンションなど庭のない家庭でも手軽に楽しめる園芸です。観葉植物とつきあってみませんか。育てば育つほど、いとおしくなってくるから不思議です。

# 育て方の基本

## 環境

### リビング

- エアコンの風が当たらない場所。
  - 日光がカーテン越しにあたる場所。
- (植物によって違いますので、それぞれ特徴をつかんでください)

### 玄関

比較的湿度が低めで、日当たりが悪いので、寒さに強いアイビーやオリヅルラン、カンノンチク、シュロチク、アスパラガス、シェフレラ、アスプレニウム、テーブルヤシなどが適しています。

### 窓ぎわ

日光が強いので冬でもレースのカーテン越しに日が当たる程度にして、半日に一回ぐらいずつ鉢を回してやりましょう。

### 浴室

環境はいいのですが、日光不足になりがち。適しているのはフィロデンドロン、モンステラ、ポトス、シダ類です。

### ベランダ

日当たりが良すぎるので、直射日光が当たっても葉焼けしないものに限られます。さらに床がコンクリートの場合は照り返しが強いので、不要になったカーペットを敷くと少しは和らぎます。また高いところでは落下しないよう万全の注意をはってください。



# 植え替え

## こんなときは植え替えしましょう。

- 土が固くなり、水も浸透しなくなった。
- 表面にコケが出てきた。
- 根が回って土の上まで露出している。
- 株が増えすぎて鉢とのバランスが悪くなっている。
- 成長が止まって、下葉が枯れてきた。



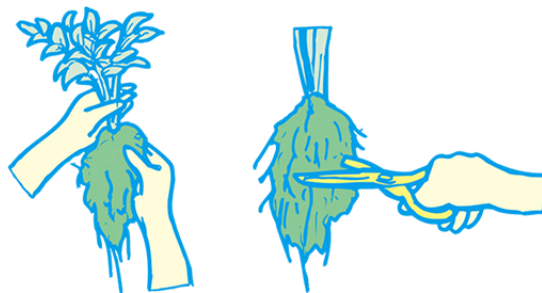
## 方法

### ①鉢から株を抜きます。

鉢の縁をこぶしでたたいて抜きます。決して株を引っぱったり、鉢穴に指を入れて押し上げたりしないでください。大きい鉢で抜けない場合は木づち等で鉢のふちをたたきます。



### ②古い土と伸びた根をとります。



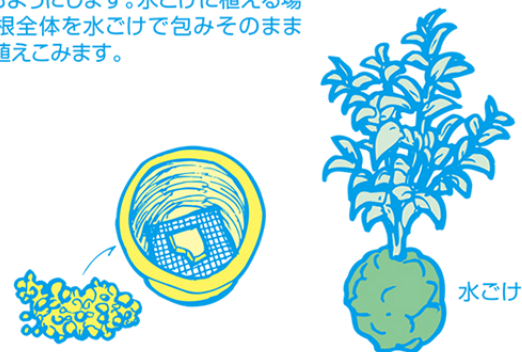
古い土を約3分の1取り除きます。水ぎけ植えの場合は腐った部分だけを取り替えます。また鉢底に根がたくさん巻いているようであれば、根を伸ばして長いものを切り取ります。

## 時期

気温が15℃以上になる5～6月頃が最適で、午前中か夕方、直射日光や風の当たらない場所。この時期に植え替えれば梅雨どきに充分根を張り、夏の暑さも乗り切ることができます。ただしサンセベリアは7月中旬、アナナス類は花が終ってからにします。

### ③新しい用土に植えこみます。

鉢底にネットやゴロ土を入れて、用土を少し入れてから株を入れます。鉢のふちにまんべんなく土を入れ、割りばしでつつき、土が入りこむようにします。水ぎけに植える場合は根全体を水ぎけで包みそのまま鉢に植えこみます。



### ④植え替え後

充分水をやり、10～20日ぐらいいは半日陰で風の当たらないところに置いておきます。肥料は1か月ぐらい後から与えてください。

